

# 南三陸 復興まちづくり通信

第46号（平成30年4月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 志津川市街地の国道45号復旧開通！



（テープカットとバルーンリリースで開通をお祝い）

東日本大震災の津波で被災した南三陸町志津川地内の国道45号の復旧工事が完了し3月29日、地域住民や国や町、工事関係者など約100人が、テープカットをし、風船を飛ばして完成を祝いました。渡り初め式では、志津川保育所の園児22人を先頭に関係者が汐見橋を歩いて渡りました。同日午後3時から一般車両の通行が開始されました。

今回開通したのは、水尻橋からさんさん商店街南側の交差点までの845m。市街地を迂回していたこれまでのルートに比べ、約1キロ短縮されました。海拔10～12mまで嵩上げされた新国道には、水尻橋（76.5m）と汐見橋（77.5m）が整備され、道路の幅は歩道を含め17m。片側1車線で、緊急の際に路肩に停車しても緊急車両が走行できます。

## ありがとう♡平成の森カフェあづまーれ！ 7年間の出会いと絆、思い出に感謝

震災後の2011年9月から平成の森に住民の憩いの場として設置された「カフェ・あづまーれ」が閉店することになり3月14日、感謝の会が開かれました。同カフェは、平成の森仮設住宅の入居者と全国から訪れる支援者の交流の場として親しまれ、7年間で99,335名が来店。多くの出会いと別れ、再会の場となってきました。当日は、元入居者や社協の支援員さんなど約70人が参加。思い出話をしながら、閉店を惜しまました。



（歌津老人福祉センターで行われた感謝の会の様子）

## 出来立て給食を小中7校へ 学校給食センターが完成 落成式！

震災の津波で全壊した南三陸町学校給食センターが完成し3月29日、落成式が行われました。4月1日から供用が開始されます。国道45号沿いの中央団地入口付近に建設された新センターは、鉄骨造一部2階建てで、延べ床面積は945平方メートル。工事費は約7億円です。学校給食衛生管理基準に対応したドライシステムを導入。衛生面に配慮した施設となっており、新たにアレルギー食対応調理室も設けられました。調理能力は1日当たり最大1,000食で、町内の小学校5校、中学校2校に給食を提供します。



(佐藤仁町長、三浦議長、佐藤教育長らがテープカット)



(伊里前地区の国道45号の交通切り替えは4月中旬頃)

## 「歌津地区復興支援の会一燈」がネットワーク会議

歌津地区で活動を行っている「復興支援の会一燈」(小野寺寛会長、会員約50人)が3月27日、第4回ネットワーク会議を開催しました。歌津復興交流センター(旧伊里前保育所)で行われた会議には、行政区長、契約会長、自治会長、小・中学校の校長など21人が出席。町建設課の三浦孝課長が歌津大橋関連の施工状況や、国道45号線の迂回路計画、漁港・防潮堤の整備など、歌津地区の復興事業計画と進捗状況について説明しました。また、各集落の課題や情報の共有が行われました。

## 志津川東復興住宅で「椿のお茶会」

志津川東復興公営住宅の集会所で3月28日、復興みなさん会主催の「椿のはな咲くお茶会」が開かれ、入居者17人が参加しました。2月に受賞した「いがす大賞」のお披露目と、幸せのおすそ分けの意味を込めて開催したものです。

始めに当会が取り組んでいる集会所でのお茶会や椿の避難路づくりの活動などについて詳しくご紹介。その後は、菓子をお茶うけに椿茶を飲みながら、みんなで愉快的な語らいのひと時を過ごしました。



(椿のお茶会の様子＝志津川東復興公営住宅集会所)

## 一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)

復興みなさん会では、トヨタ財団から助成をいただき支援活動を継続しています。